

第1回 奈良県道路斜面防災点検検討委員会

議事概要

1. 日時：令和6年10月9日 9:00~10:25
2. 場所：奈良県庁 第一会議室（オンライン併用）
3. 出席者：

委員長	京都大学 名誉教授	大西 有三
委員	京都大学 工学研究科 都市社会工学専攻 教授	岸田 潔
委員	関西大学 社会安全学部 教授	小山 倫史
委員	京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授	橋本 涼太
委員	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	桑原 正明
委員	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員	浅井 健一
委員	国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長	青山 淳
委員	奈良県県土マネジメント部次長（土木・政策統括担当）	篠田 隆三

4. 議事

- (1) 規約の確認
- (2) 資料説明
- (3) 質疑・意見交換

主な議事内容

- (1) 規約確認
- (2) 資料説明

事務局より配布資料に沿って説明

- ・ 検討状況の報告
- ・ 防災点検要領 目次（案）について

(3) 質疑・意見交換

1) 被災箇所の分析について

- ・ 地形と被災箇所の間関係を把握するため、点検結果はGIS等を活用し、マップ上で見ることが出来るようにした方が良い。
- ・ ロングリストには雨の降り方、土砂量等の災害規模、既往対策の有無等の整理がある

とよい。ロングリストとして整理が難しいものについては、文献参照項目を併記するなどの対応でもよい。

2) スクリーニングについて

スクリーニングで重要なのは地形をいかに判読するかである。地形判読結果と衛星 SAR 画像を重ね合わせて災害現象や規模に応じた点検手法を検討するとよい。(例えば、小規模な落石は日常点検で確認する等)

3) データベース化について

点検結果データの活用を見据えたうえで、利用しやすいデータベースを構築していくことが重要である。

4) 平常時点検について

法面对策済の箇所への対応についても整理するとよい。

5) 緊急時点検について

災害発生の兆候があり現地確認する場合も緊急時対応となるので緊急時の定義を整理すること。

以上